

◆災害に強い地域づくりと安全対策の強化

自主防災体制づくり

自助・共助・公助の連携により、災害に強い地域づくりや防災体制の強化を目指すし、自主防災組織等が行う防災活動や資機材の整備を支援します。

また、避難所に指定されている小・中学校に順次、避難所運営に必要な資機材を倉庫とセットで整備するほか、関係機関と地域が一体となった実践的な訓練を行います。



▲長浜市防災訓練の様子

予算額 5,232万円

除雪作業の効率化

冬季における安全かつ円滑な道路交通を確保するため、除雪車等の運行状況をGPSにより把握するシステムを導入し、市民からの問合せなどへ迅速に対応するとともに、除雪作業等の効率化を図ります。

防犯灯設置を支援

自治会が管理する防犯灯のLED化を促進するため、設置にかかる経費の一部を補助します。
防犯灯の長寿命化、自治会の負担軽減により、さらなる地域防犯力の向上を図ります。



▲集落内のLED防犯灯

予算額 3,000万円

予算額 3,501万円

◆市民の暮らしを守り、いきいきと安心して生活できる地域社会の実現

生きがいを持てる高齢者の生活を応援

介護事業者等による高齢者の社会参加・介護予防・健康づくり等の機会を提供する「よりあいどころ」に対し、建物の修繕や備品購入、講師代などを補助します。



▲介護事業者が行う体操指導教室

予算額 945万円

しょうがい者の生活を支えるやさしいまちづくり

しょうがいのある人が、慣れ親しんだ地域で安心して暮らすことができるよう、相談支援員を増員し相談支援の機能強化を図ります。
また、新たにできる相談支援事業所などの育成を図り、すべての人が自分らしく、自然で心豊かな生活が送れるよう取組を推進します。

予算額 6,210万円



▲ワークショップを通じて課題解決手法を学ぶ様子

市民活動を支援

地域課題の解決や新しいまちづくりを担う人材の育成、市民活動に関する相談窓口、ネットワークづくりの支援などを行うため、市役所ときのもと交遊館に「ながはま市民活動センター」を開設します。

センターにはコーディネーターを配置し、市民同士のつながりを深めながら、活動の幅が広がり、より活発になるよう応援します。

予算額 848万円

◆地域経済の活性化と持続可能な農林業の推進

農業の可能性を見出す新アグリビジネスの確立

来年3月に供用開始する小谷城スマートインターチェンジ周辺を核とした、新たなアグリビジネスモデルを確立するため、試験農場の設置や人材育成を目的とした研修会等を開催します。
また、水稲中心の農業から早期に脱却を図るため、野菜栽培に必要な機械購入や圃場の排水対策にかかる経費を補助し、多角経営化や6次産業化に取り組む皆さんを支援します。



▲キャベツ収穫機

予算額 3,047万円

内需・雇用機会の創出

本社機能を有する事業所の進出を促すことで、新たなビジネスチャンスや地域内需要・雇用機会を創出し、地域経済の活性化と若者の地域への定着を図ります。
要件を満たす事業者に対し、雇用者用住居や事業所の賃借料等を助成します。

予算額 21万円

自伐林家を養成

作業や森林経営に関する講座・現地指導を拡充し、長浜スタイルの自伐型林業の構築を図ります。また、地域おこし協力隊と連携し、森林機能の回復や担い手を増やす取組を推進します。

予算額 460万円



▲自伐型林業の実践と普及に取り組む地域おこし協力隊

長浜駅周辺の整備

長浜駅周辺が魅力的な空間となるよう、市街地再開発事業を支援します。
また今後、再整備を検討する地区に対し、中心市街地活性化基本計画に基づく事業調査や事業スキームの検討にかかる費用の一部を支援し、事業の具体化を促進します。

予算額 9億4,064万円



▲完成予想図(長浜駅東地区)

学校をリノベーション

旧上草野小学校を、スポーツを中心とした健康維持・増進につながる施設として活用するため、運動場を天然芝生にするなど、地域の活性化、交流を生み出す拠点づくりにつなげます。



▲旧上草野小学校の運動場

予算額 9,500万円

北部地域の魅力アップ

市北部地域の活性化を目指し、若者が活躍できる拠点づくりやオペラなどの芸術を通じた魅力の発信、地域のブランド化、奥びわ湖の景観を生かした「恋人の聖地プロジェクト」の推進など、豊富な地域資源を生かした交流の場の創出に取り組めます。

予算額 570万円